

岩手郡医報

平成11年3月 No62
編集 発行
岩手郡医師会
題字 零石町高橋孝先生



雪の岩手山（西根町大更より）

ふるさと岩手を語るとき、どうしても話題となるであろう四季折々の美しい変化を見せる『岩手山』は、奥羽山脈北部随一の高さを誇り、南部片富士とも呼ばれ、眺める位置によって私たちに様々な姿を見せ、零石・滝沢方面からはくっきりとした山合いの稜線の沢づたいがみられ、また西根・松尾方面からは岩手山の滝沢側に拡がる裾野はまさしく富士山の裾野を連想させる景観でもあり、西根町平笠に伝わる「裸参り」に見られるように古くから信仰の対象になったり、文学や絵画の題材にされたり、はたまた最近の零石町付近に被害をもたらした地震とともに岩手山の火山性微動の観測など、山への登山禁止も出されたりまだ予断は許されない状態となっているが、山麓に住む私たちの心のよりどころといえよう。

(M・S記)

目 次

雪の岩手山	1	平成11年度学校保健事業計画	7
岩手郡医師会講演会	2	岩手郡医師会役員会	7
第11回岩手地区学校保健・安全・給食研究大会	5	郡医師会役員会	7
	5	岩手郡医師会理事会	8
第15回岩手県学校保健・学校医大会について	6	(隨想)	
	6	介護支援専門員（ケアマネージャー）	
平成10年度 第2回岩手県医師会	6	零石町 高橋 孝	9
学校医部会幹事会	6	会員の入会・退会・異動	10
平成10年度学校保健活動状況	6	編集後記	10

岩手郡医師会講演会

日時：平成10年11月28日(土)午後4:00～

場所：ホテルメトロポリタン盛岡

NEW WING



郡医師会講演会

I. 学術講演

「気道疾患における最近の話題

——いびきと喘鳴をどう診るか——」

岩手医第三内科講師 桜井 滋先生

II. 時局講演

「政界を斬る」

政治評論家 菊池 久先生

III. 忘年懇親会

I. 学術講演

◇講師紹介：桜井 滋 先生

昭和30年11月 盛岡市生れ

昭和56年 金沢医大卒業、同大にて胸部心臓血管外科・麻酔科研修

昭和58年 金沢医大呼吸器内科助手

平成元年 同 上 講師

平成2年～平成3年 米国ワシントン大学留学

平成6年 岩手医大第三内科講師

平成10年 同 上 外来医長

学位：平成元年 医学博士取得

専門：呼吸生理学（主に換気力学）

気管支喘息などの気道疾患、呼吸不全、呼吸管理



桜井 滋 先生

◇講演要旨：

○はじめに

専門領域の呼吸生理に関する睡眠時無呼吸症候群が最近注目をあびている。即ち睡眠中の雑音である鼾（いびき）について密かに悩む人は少なくない。しかし、鼾そのものは健康人にとっても決して稀な現象でなく、誰に

とっても日常的な出来事であるだけに、その背後に潜む重大な危険、すなわち睡眠呼吸障害の存在に気づくことは少ない。さらに、その危険は眠りという無意識のもとで生じるため、皮肉なことに、危険に曝される本人が最もそれを認識しにくい立場にあるという側面がある。そのことがこの病態の疾患としての

認知をさらに困難なものにしている。

睡眠時無呼吸症候群という名称の他、歴史的に肥満低換気症候群（ピックウィック症候群）、原発性肺胞低換気症候群、オンドイヌの呪い症候群などの名でも知られ、いずれも睡眠中の肺胞低換気とそれに伴う低酸素・高炭酸ガス血症、呼吸性アシドーシスを介する種々の症状を有し、全身の代謝に影響を及ぼす重大な疾患である。

○鼾と無呼吸症候群の診断と臨床症状

閉塞型無呼吸症候群では高度の肥満や下顎の位置異常、扁桃の肥大など上気道の構造的異常を背景に、上気道の開存性を維持する頸（オトガイ）筋などの上気道筋群の緊張低下といった機能的異常が加わることにより気道が虚脱して狭窄を生じる。その際、換気努力による吸気気流が狭い気道を無理に通過するため、気道を形成する粘膜や筋肉などが振動して音を発すると考えられる。すなわち、鼾は上気道抵抗の増大を意味し、気流を阻害する要因が存在しないタイプの睡眠呼吸障害では鼾を伴わない。

睡眠呼吸障害の代表的臨床症状

- 鼾（中枢型では全くみられない場合がある）
- 睡眠中の呼吸停止
- 日中の傾眠
- 高血圧、脈の不整
- 不眠、中途覚醒、夜間頻尿
- 起床時の頭痛
- 睡眠中の異常体動
- 労作時の息切れ
- 記憶力・集中力の低下
- 性格変化（易怒性・無関心）
- 性的障害（インボテジス）
- 夜尿

（文献より、一部改変）

一般に確実な診断のためには臨床症状のみでは不十分であり、睡眠中の呼吸・循環・脳波などの生体信号を同時に記録して解析できるポリソムノグラフ（polysomnograph）による終夜呼吸モニター検査、いわゆるスリープスタディが必要である。最も一般的な診断

基準としては「7時間の睡眠中に10秒以上の無呼吸が30回以上あるいは1時間に5回以上認められること」というGuillemainaultの基準が用いられる。

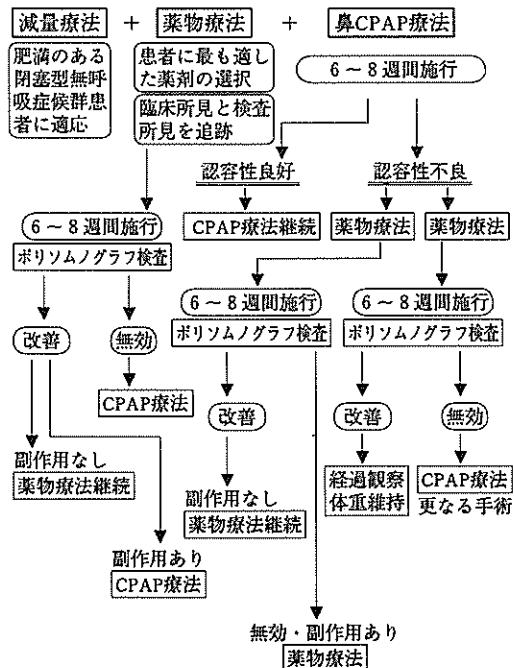
終夜検査の施行には多大の労力と時間を必要とするうえ、わが国の現状では専門の検査施設や機器を備える医療機関が限定されているため、未だ適切な診断と治療が行われないままの症例が少なくない。

○治療法選択の流れ

1. 減量療法（肥満のある閉塞型無呼吸症候群患者に適応）
2. 薬物療法（患者に最も適した薬剤の選択）
3. 鼻CPAP療法 6～8週間施行

ここで紹介する鼻CPAP（nasal continuous positive airway pressure;nCPAP）療法は睡眠呼吸障害、中でも頻度の高い閉塞型無呼吸症候群に対して最も顕著な効果が期待できる治療法である。

睡眠呼吸障害の治療法選択の流れ



（ 桜井滋先生著「日本医事新報」（第3829号）
平成9年9月13日号より抜粋 ）

II. 時局講演



菊池 久先生

政治の裏・表」として講演した江刺市出身の政治評論家菊池久氏は、先の郡医師会役員会においても再びお話しをお聞きしたいという要望もあって今回再度来盛していただいた。

(略歴は省略)

◇講演要旨：

話の冒頭：自慢話をさせて下さいとして取り上げたのが、自分が連載している新聞（東京スポーツ11月28日現在2661回——360万部発行）の政治評論コラムの本年7月11日号の誌面で「参議院で自民党惨敗」「橋龍（橋本龍太郎首相）引責退陣」を参議院議員選挙投票日（7月12日）の前日7月11日に予告記事としたことが見事に当った。（ここで拍手が来るハズ？）……会場は何も反応なくタメ息ばかり）参議院自民党は66議席以上あれば過半数となるが、今回は44議席しか獲得できなかつた。よって橋本前首相は、7月13日午前0時45分惨敗を認め、敗北宣言をし、朝になつて自身の身のふり方として首相を辞任し、次の自民党総裁を小渕恵三氏へとバトンタッチされることになった。

この小渕恵三氏は、これといったスキャンダルのない男であり、仲々自分達評論する仲間でも「ネタ」がなく失業状態であるという。今話題の政党助成金の報告をごまかした中島洋次郎氏の女性スキャンダル他の話しや、つ

『政界を斬る』

政治評論家 菊 池 久 先 生

い先日11月16日、19日に行われた小渕氏と小沢一郎自由党首との会談において、「自・自連立」として手をつないだ。

自民党 104人、自由党12人の合計でも 116人であり、定数 252名の過半数（126人以上）には達しない。よって政局は不安定のままであり、自・自連立としても小渕総理のヌカ喜びと言わざるを得ない。15才以下、65才以上の方々への商品券構想を提案した公明党の24人を加えれば 140人となり、自民党は安泰といえるが……。

つい最近になって（11月27日）自民党の旧渡辺派（衆・参両院で63人）が分裂した。また旧宮沢派の宮沢喜一蔵相（平成の高橋是清といわれている。）が同派を加藤紘一前自民党幹事長に譲り、同時に蔵相辞任の決意を表明した。この宮沢辞任は、自・自連立政権発足と時期が重なるため、近々行われる予定の党役員・内閣改造人事で、小沢一郎氏の副総理・蔵相として入閣の道を拓くことは確実であるといえる。（東京スポーツ11月29日号より）

権力志向の強い小沢氏の自・自連立のねらいもそこにあるのではないか。

一方の旧渡辺派の山崎拓氏は、約30名と共に11月30日に自身の学習グループ「近未来研究会」において新「山崎派」として正式旗揚げが予定されている。

果してポスト小渕へ来年9月の党総裁選への推薦国會議員30人以上確保にどれだけ人数をうわのせできるかが焦点である。（平成10年11月30日現在）

III. 忘年懇親会



講演会終了後今年のしめくくりの忘年会を兼ねた懇親会となった。市内スナックのママさんによる岸洋子、越路吹雪等往年の歌手のヒット曲を生出演によって披露してくれ、そのあとは会員のカラオケ発表会となつた。

◀懇親会の三人
(左より坂井、細井、上原の各先生)

■ 第11回岩手地区学校保健・安全・給食研究大会 ■

期 日 平成10年11月21日(土)
 会 場 玉山村中央公民館(大会議室)
 主 催 岩手地区学校保健会
 研究協議

研究発表

主 題 『自ら健康生活を実践するための健康指導のすすめ方—喫煙防止教育をとおして—』

座 長 岩手郡歯科医師会 三浦 幹也
 助言者 盛岡教育事務所

指導主事兼保健体育主事

千葉 和寿
 岩手郡医師会 上原 充郎

発表者 零石町学校保健会
 零石町立南畑小学校
 養護教諭 菊池 純子
 零石町立零石中学校
 養護教諭 熊谷 幸子

講 演

演 題 『こども・おとのメンタルヘルスを考える—日常診療の視点から—』

講 師 西松園内科医院院長

斎藤恵子先生

座 長 岩手郡医師会 上原充郎



岩手地区学校保健・安全・給食研究大会(会場玉山中央公民館)

去る平成10年11月21日(土)玉山村中央公民館に郡内各小・中学校の学校保健会関係者(医師、歯科医師、教育長、校長、養護教諭、保健主事、その他の教師など)が集まって、児童・生徒の健康増進と学校保健の情報交換の場として、保健指導実践教育の一環の発表も含めて表記大会が行われた。

参加者は約百数十名にも及び広いホールに用意されたイス席もほぼ満席となる程の盛況であった。会員の中には土曜の午後の開催に不満をもっているものもあった。

最初に行われた研究協議では「自ら健康生活を実践するための保健指導のすすめ方—喫煙防止教育をとおして—」をテーマに、零石町学校保健会菊池純子、熊谷幸子の両先生に

よる研究発表が行われ、千葉和寿(盛岡教育事務所)上原充郎(岩手郡医師会)の両先生による助言をいただき、フロアから多くの発言があり盛会であった。

その後「こども・おとのメンタルヘルスを考える」と題して、斎藤恵子先生(西松園内科医院)からは心あたたまるお話をいただき、自らの外来診察室での症例を混じえたストレス社会での心理的アプローチからの交流分析を取り入れた心理診断・治療が効果をあげている事例が紹介され、聞くものにとっては現在の自分の立場も心理テストが出来るように資料も用意されており、大変参考になるものであった。

■ 第15回岩手県学校保健・学校医大会について ■

郡医師会理事 上原充郎

平成11年1月17日、県医師会館において開催されました。くわしくは「いわて医報」に掲載されますが、プログラムを御報告致します。

I. 一般演題

- 1) 貧血検診
- 2) 小児生活習慣病
- 3) 精神保健
- 4) スポーツ
- 5) 眼科
- 6) 耳鼻科
- 7) その他

II. 総会

III. シンポジウム

「学校医はどこまでやれるのかーその役割と限界ー」 座長 佐藤進・吉田新二
 シンポジスト 盛岡市 白井康雄
 岩手郡 上原充郎
 盛岡市 菊地和彦
 盛岡市 小笠原孝佑

IV. 特別講演

「最近の非行少年」 座長 石川育成
 盛岡少年鑑別所所長 小柳浩子先生

平成10年度 第2回岩手県医師会学校医部会幹事会

平成11年1月17日、12:10より岩手県医師会館において石川育成県医師会長御出席のもと、各都市医師会幹事全員が参加して、報告・6項目、協議・3項目について話し合われた。この中で、報告(1)と協議(1)について掲載致します。

報告

- (1) 平成10年度活動状況について
- (2) 第10回東北学校保健・学校医大会について
- (3) 第29回全国学校保健・学校医大会について
- (4) 岩手県教育委員会との懇談会について

- (5) 学校精神保健に関する打合会について
- (6) 日本医師会学校保健担当理事連絡協議会について
- (7) その他

協議

- (1) 平成11年度学校医部会事業計画(案)について
- (2) 平成11年度学校医部会予算(案)について
- (3) 平成10年度学校医部会総会議事について
- (4) その他

平成10年度学校保健活動状況

H10. 4. 21 岩手県歯科医師会との学校保健に関する打合会

H10. 7. 4 第1回学校医部会幹事会

H10. 9. 11 第52回東北医師会連合会総会並びに学術大会(学校保健分科会) 於 山形県

H10. 9. 18 第1回学校保健担当理事打合会

H10. 10. 29 学校精神保健に関する打合会

H10. 11. 7 平成10年度第29回全国学校保健・学校医大会
於 宮城県

H10. 12. 9 平成10年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会
於 日本医師会館

H10. 12. 17 岩手県教委員会との懇談会

H11. 1. 17 第15回岩手県学校保健・学校医大会並びに総会 第2回学校医部会幹事会 <今後の予定>	H11. 1. 24 日医主催平成10年度乳幼児保健講習会 於 日本医師会館
H11. 1. 23 日医主催平成10年度学校保健講習会 於 日本医師会館	H11. 2. 13 平成11年度第11回東北学校保健・学校医大会における担当理事打合会 於 秋田県

平成11年度学校保健事業計画

- (1) 児童生徒の心の健康への取り組み
- (2) 感染症予防法施行への対応
- (3) 少子化社会への対応
- (4) 岩手県学校保健・学校医大会の開催
- (5) 小児期における生活習慣病予防対策
- (6) 学校保健委員会活動の推進
- (7) 幼稚園医保育園医の組織化
- (8) 学校保健関係団体との連携

岩手郡医師会役員会

日 時：平成10年12月10日(木) PM 6:00～
場 所：盛岡市中央通1-7-16

日の出ビル4F すゞ禅

出席者：高橋(牧)・高橋(孝)・西島・八角・篠村・及川・嶋・岡本・柄内・根本・上原の各理事、細井・久保谷の各監事

○報告事項

1. 危機突破緊急打ち合わせ会議について
2. 社会保険診療報酬に係る事業税非課税措置について
3. 岩手県医師会情報システムの対応について
4. 社保・国保審査員との懇談会について

○協議事項

1. 在宅当番医制事業の補助金削減への対応
2. 岩手県救急医療情報システムの更新

3. 新しい保健医療計画の基本的方向（中間意見具申）にたいする意見について

4. 平成10年度学校保健活動状況及び平成11年度学校保健活動テーマの報告のお願い

5. 岩手県医師会親睦囲碁大会の参加募集

○行事予定

1. 岩手県学校保健学校医大会（平成11年1月17日）
2. 平成10年度社会保険指導者講習伝達会（平成11年1月24日）
3. 岩手郡医師会関係——郡医師会総会（平成11年4月中旬）
 - (1) 平成10年度決算・部会事業報告
 - (2) 平成11年度予算案。事業報告（部会事業報告案を含む）
 - (3) その他

郡 医 师 会 役 員 会

日 時：平成11年1月19日(火) PM 6:00～
場 所：盛岡市「梓」

出席者：高橋(牧)、西島、高橋(孝)、八角、根本、佐々木、坂井、岡本、及川、柄内、嶋、篠村、上原、細井、久保谷

- ・新年にあたり会長あいさつ
- ・最近の話題から
- ・新規入会予定者
- ・郡医師会総会開催について（平成11年4月中旬頃）
- ・その他

岩手郡医師会理事会

日 時：平成11年3月16日 午後6:00

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡

出席者：高橋(牧)・高橋(孝)・西島・篠村・
柄内・上原・及川・岡本・佐々木・
嶋・八角・根本の各理事

1. 新感染症の説明会（3月26日午後6時45分於県医師会館）
2. 在宅当番医制事業に係わる国庫補助金の削減状況
3. 平成11年度インターハイ医療救護計画
4. 災害時の医療救護に関する郡市医師会と市町村との協定書の締結

災害時の医療救護に関する郡市医師会と市町村との協定書の締結状況

(平成10年10月17日現在)

郡市医師会名	市町村名	協定締結年月日	一部を変更する協定締結年月日
岩手郡医師会	平石町	S 63.12. 1	S 10.10.15
	葛巻町	S 63.12. 1	S 10.10.15
	岩手町	S 63.12. 1	S 10.10.15
	西根町	S 63.12. 1	S 10.10.15
	安代町	S 63.12. 1	S 10.10.15
	滝沢村	S 63.12. 1	S 10.10.15
	玉山村	S 63.12. 1	S 10.10.15
	松尾村	S 63.12. 1	S 10.10.15

5. 老人医療に係わる一部負担金の額の改定について

老人医療に係る一部負担金の額の改定について

老人保健法の規定に基づき、老人医療の一部負担金が平成11年4月1日から下記のとおり改定されますので、貴会員に周知方をお願い申し上げます。

なお、これに関するポスターを三師会及び厚生省と共同で作成し、別途お送りする手配をしております。

また、老人医療の薬剤一部負担金は本年7月1日から患者に代わって国が負担することとなり、その詳細についてはは追って連絡いたします。

記

1. 外来の場合
1日につき500円 ⇌ 530円となる。
ただし、同一の医療機関につき1月に4回まで
2. 入院の場合
1日につき1,100円 ⇌ 1,200円となる。
ただし、老齢福祉年金受給者は
1日につき500円
1月の負担上限額35,400円
3. 今後の一部負担金の考え方と改定時期
外来、入院それぞれの1日平均医療費の伸びの実績値をもとに計算。
2年度ごとに、年度初め（4月）
4. 外来薬剤の一部負担金
6月30日までは従来どおり負担。

6. 社保レセプト提出日

お知らせ

平成11年国保診療報酬請求書の提出締切日・平成11年度社保診療報酬請求書の提出日について

平成11年国保

(1)通常月 10日午後5時まで

(2)特定月

平成11年1月提出締切日	1月12日(火)午後5時まで
↙ 4月提出締切日	4月12日(月)正午まで
↙ 5月提出締切日	5月11日(火)午後5時まで
↙ 7月提出締切日	7月12日(月)正午まで
↙ 10月提出締切日	10月12日(火)正午まで

平成11年度社保

平成11年4月提出日 4月9日(金)

↙ 5月提出日 5月10日(月)

↙ 6月提出日 6月9日(火)

↙ 7月提出日 7月9日(金)

↙ 8月提出日 8月9日(月)

↙ 9月提出日 9月9日(火)

↙ 10月提出日 10月8日(金)

↙ 11月提出日 11月9日(火)

↙ 12月提出日 12月8日(火)

平成12年1月提出日 1月10日(月)成人の日 9:00から17:00開所

↙ 2月提出日 2月9日(火)

↙ 3月提出日 3月9日(火)

7. 老人保健福祉計画介護保険事業計画策定懇談会委員の推薦依頼

8. 衛星遠隔研修による第1回「リスクマネジメント」講座の開催

9. 定款改正について

10. 岩手郡医師会通常総会開催について
(4月17日午後3:30より)

11. その他

1) 県医師会親睦ゴルフ大会が水沢・江刺医師会の担当で9月26日、栗駒ゴルフクラブにおいて行われる。

2) 第11回東北学校保健会、学校医大会が秋田県医師会の担当で、7月24日、25日秋田市で行われる。



想
隨

介護支援専門員(ケアマネージャー)

零石町 高 橋 孝

昨年7月頃だったろうか介護保険制度施行にあたり、介護支援専門員なる資格試験のあることを知った。日本医師会からもこの制度に関する記事が多くなり、予想される資格試験についてのニュースも知ることができるようにになってきた。

外科の認定医も老齢とて「日本外科学会認定医制度暫定規則により認定医として認定する」であり、試験などは医師国家試験以来であり、65歳の抜けた脳みその鍛錬と思い受験を決意した。

だがである「ドイツでケアマネージャーの資格はリタイヤした医者が取得している。」「医者が資格を取得しても何の役にも立たない。」「看護婦、保健婦と一緒に受験して落ちたら格好悪い。」「医者には、後で講習を受けさせて、ケアマネージャーの資格をくれるようになるだろう。」等など聞こえてくる。

周りを見ると皆が大勉強をしているようだ。町の保健婦達は、ビデオを使って勉強しているし、受験者の為の講習会も開いている様子である。参考書は所謂本のカバーの外箱が分厚く、重く、絶対転ばない本と言われた。ブルーの1,000ページの長寿社会開発センター発行の介護専門員標準テキストである。赤や青のマーカーは、海馬の機能におかまいなく色だけが走って行く。失禁の種類、老人ぼけの臨床的判定基準等(これらについて、受験票がきて解ったが保険医療の基礎知識並びに総合知識は解答免除であった。) I L O は、社会福祉八法は何年に制定されたか、2,000年には要介護者が何十万人になるか等、不得意の数字の暗記もあった。

8月25日、日医総研より受講試験予想問題集が出て「医師会の問題集は良かったなア、あまり数字の暗記も必要ないし、あれぐらい解けたら大丈夫だよ、皆もあれぐらいは知っているほうが良いよ」とホールを歩きながらのトップの一言であった。この医師会の問題集には勇気づけられた。

平成10年9月20日、いよいよ受験日である。会場に入ったら同級生が居って、挨拶もそこそこに、驚いたことに、外国语の単語を覚えるように厚い単語帳を持ち、一枚一枚開き勉強中である。試験はマークシート方式で、こ

れも初めての経験、医師、歯科医師は一つの部屋での受験であった。受験番号を塗りつぶさないで注意を受けている先生もいる様子で少し安心した。「受ける気が無かったもんな、もっと早く解って勉強すれば良かった。講習も有ったようだし、模擬試験も有ったようだし、俺受けなかったもんな、難しかった！駄目だった！」と落ちたときの言い訳を医院中一杯叫んで、疲れて帰った。

間違って合格した。今度は講習を受けなければならぬ。前期、後期3日づつ延べ6日間休診にしなければならない。「モシ、モシ個人開業医ですので、4組から3組の土日、祝日の入った組に変えて戴けませんか？」「それは駄目です。仕事を休んで下さい、結婚式等は止むを得ませんが」「アーバ、2月20日に媒酌人をしなければなりません、なんなら証明書を送りますか？」「いやいやそれは結構です」結局組替えをして受講できた。神奈川の友人から聞くと、神奈川では医師には土日に集中して講習をしたと言うが、岩手は医師の受講者が少なかったのかも知れない。1日7時間、オシッコタイム5分というきつい受講日もあった。後半は不摂生から肺炎に罹ったりしたがどうやら認定書を戴いた。

さてこれからだが、もし認定業務に就くことがあれば、「介護サービス調査」の方法、内容が少しは解った。次いで要介護者のニーズを十分に把握して、アセスメントを行うが、MDS-HCなる方式一つを実習した。これは確かに要介護者のニーズに応える科学的方法であり、結果には感心しました。これに則ってケアプランを作成することになるが、作成については、ケアマネージャー又要介護者本人でも良いことにはなっているが、医師が大きく係わる必要があるのではないかと考えさせられ、見直しに至っては尚更である。ここで受験前に聞いた「医師には特別に受講を受けてケアマネージャーの資格をくれる」と言うことは近々実現するような気がする。又「かかりつけ医の意見書」だが、意見書記載のみの往診は認めないので、要介護状態になりそうな自分の患者には視点をかえて、常に意見書を書けるような診方が必要だと思います。

会員の入会・退会・異動

<入会>

①氏名：植田 修

(植田内科・消化器科医院)

②年齢：42歳（昭和31年8月26日生）

③出身地：岩手県上閉伊郡大槌町

④出身校：岩手医科大学

⑤診療（専門）科目：内科、消化器科、胃腸科

⑥開業の時期：平成11年1月23日

⑦趣味：読書

⑧ひとこと：滝沢村民の一人として何か貢献できるように努力したいと考えています。

植田内科消化器科医院

〒020-0173 滝沢村滝沢字穴口183-3

TEL 019-643-5511 FAX 019-643-6222

①氏名：松尾 尚

(松尾皮膚科)

②年齢：45才 昭和28年6月8日生まれ

③出身地：盛岡市（青森県三戸町生まれ、北上市、五戸町を経て3才より盛岡市在住）

④出身校：金沢医科大学（昭和59年卒）

⑤診療科目：皮膚科

⑥診療受付時間：午前9時～12時30分

午後2時～5時30分

水曜、土曜の午後および日曜、祝日は休診。（水曜午後は手術などのため休診とさせて頂きました。）

⑦趣味：スキー、カヤック（カヌー）、釣

編集後記

○暑さ寒さも彼岸までとはいえ、今年の春彼岸の連休には大雪・強風と各地に大きな被害を及ぼした。

3月21～22日にかけては、盛岡市内でも20数cmの積雪があり、春の降雪は湿り気の多いすぐにとけ易い雪質ではあるが、これが夜間になって気温の低下と共に路面の凍結、強風が伴うと困ったことになってしまった。

東北自動道は通行止め、よって国道は渋滞が続いた。

電車は路線には線路に倒木とかで遅れが出たり、混乱をもたらす春の珍事であった。

○11月21日玉山村中央公民館において行われた岩手地区学校保健・安全・給食研究大会は、郡内ほぼ中心部と思われる場所だけに多数の参加者があり、講演においても多く

り（昨年からフライを始めました）

⑧ひとこと：3月10日から、滝沢村牧野林で皮膚科医院を開業しました。盛岡赤十字病院、岩手医大での経験を生かし、少しでも地域の役に立てればと思っています。

岩手郡医師会の先生方には、今後いろいろと御世話になると思いますが、宜しく御願いします。

松尾皮膚科

〒020-0172

岩手郡滝沢村滝沢字牧野林1010-11

TEL 019-699-2020 FAX 019-699-2021

E-mail matsuo@iwate.med.or.jp

①氏名：大津友見

(県立沼宮内病院)

②年齢：47才

③出身地：青森県弘前市

④出身校：岩手医科大学 大学院

⑤診療（専門）科目：外科、消化器外科（日本消化器外科学会指導医）

⑥勤務の時期：平成10年8月1日

⑦趣味：音楽、映画、スポーツ等

⑧ひとこと：よろしくお願いします。

県立沼宮内病院

〒028-4303 岩手町大字江戸内10-28-3

TEL 0195-62-2511

<異動>

立木 光 40才

岩手医大よりいわてリハビリテーションセンターへ（H11.1.9～）

の熱心な討論があり、後々の報告書でも大変好評であったのが印象的でした。

○11月28日には郡医師会講演会が行われ、昨年の同時期に来盛した菊池久氏に再び日本の政治家についてのお話しをしていただきましたが、後半ハブニングがあり、会場は騒然とした。

それより前に講演された岩手医大桜井滋先生は、専門領域の呼吸生理に関連した「イビキ」のお話しではあったが、会場でも数人は心あたりの人もおられたようで熱心に拝聴していた。

○高橋孝先生（平石町）には、平成12年4月より始まる介護保険に伴う介護支援専門員の資格試験に挑戦された経緯を含めて寄稿していただいた。いつもありがとうございます。（M・S記）